NEW

パワーゲート® すいちょく V 600 800

取扱説明書

V60*A-*S***
V80*A-*S***

ご使用前に本書を必ずお読みください。
取扱説明書は車の中に保管しましょう。

極東開発工業株式会社

まえがき

このたび極東開発のパワーゲートVをお買いあげいただきありがとうございます。極東開発はかずかずの特装車を通じてお客様の物流合理化のお役に立ちたいと願っております。

安全・確実な作業には
正しく上手な取り扱いが必要です。
ご使用の前に本書を必ずお読みください。

●本書にはパワーゲートの正しい取り扱いの方法のほか、簡単な点検・手入れについて説明してありますのでぜひご一読ください。

＊**「必読！厳守事項」** **⚠危険** **⚠警告** **⚠注意**

はとくに重要な事項です。必ず読んで守ってください。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車が損傷するなどのおそれがあります。

＊本書のなかで使用されている記号は次のようになっています。

⚠危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
⚠警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

C O N T E N T S

目　次

「必読！厳守事項」 …… 1

各部の名称 …… 5

操作方法 …… 6
1．作業準備 …… 6
2．リフト操作 …… 6
3．プラットホーム自動開閉操作 …… 10
4．走　　行 …… 11
5．走行後の手入れ …… 11

点検・整備 …… 12
1．適正な作動油の使用 …… 12
2．給脂箇所 …… 12
3．洗　　車 …… 13
4．ヒューズ …… 13
5．定期点検 …… 14
6．ワイヤ点検と交換 …… 15

ワイヤレスリモコン操作要領(オプション) …… 16

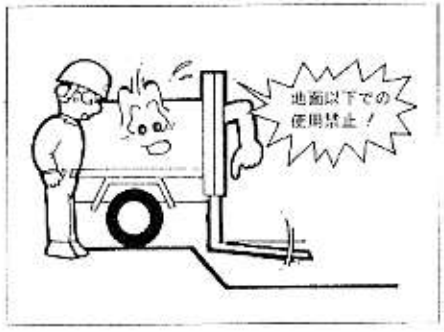
工場およびサービス網 …… 18

「必読！厳守事項」

(1) 不整地や傾斜地での作業は絶対にしないでください。
積荷が転落し大変危険です。

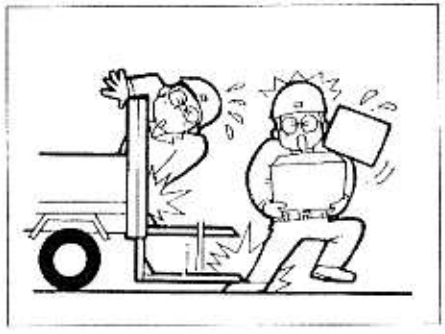
(2) 駐車ブレーキを掛け、車両には輪止めをしてから作業を開始してください。

(3) 地面に段差がある場所での操作はインナコラムやスライダが抜けたり、プラットホームが後傾斜になる恐れがありますので、やめてください。



(4) 車輪が付いている台車等は、自走して落下し易くなりますので、作業時は車輪にストッパ等をして落下防止措置を行ってください。
丸い物、球形の転がり易い物も同様に落下防止を施してください。

(5) パワーゲートを操作するときは、作動部に手や足を近づけないようにしてください。車両のまわりに人がいる時は必ず合図をしてから、操作してください。又、操作は荷くずれ等の危険を考慮して車両後部の左側又は右側で操作してください。

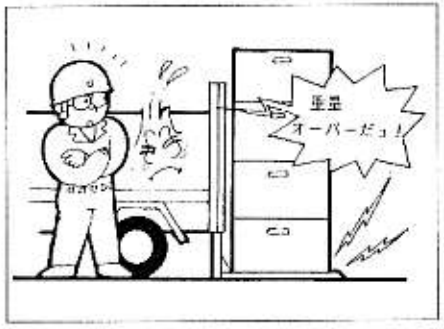


(6) プラットホーム上に乗って、昇降作業をしないでください。やむを得ず、プラットホーム上で作業する時は、積荷、プラットホーム、荷台との隙間で手足を挟まれないよう、又、落下の危険が無い安全な位置で行ってください。

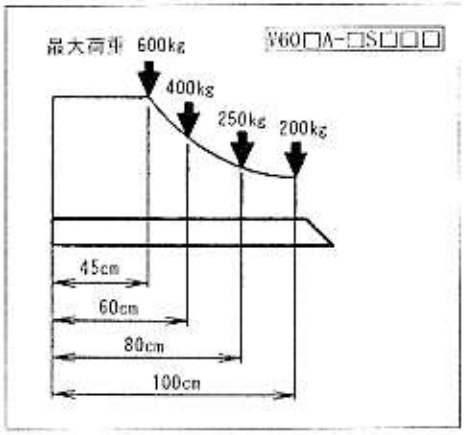
「必読！厳守事項」

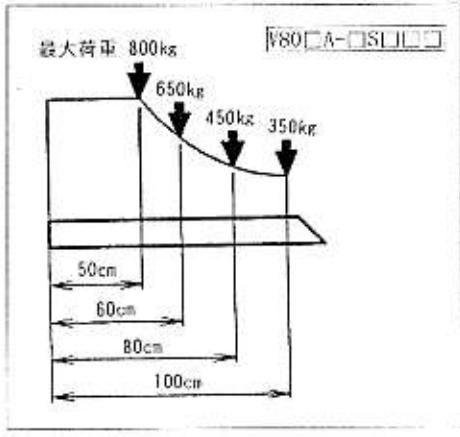
(7) 安全のため、作業中はヘルメット・安全靴の着用を励行してください。

(8) 最大荷重を守ってください。
・荷物を乗せる位置により、プラットホームの最大荷重が変わりますので、下図の荷重表を参照してください。
・荷物を降す時も荷重オーバーにならないようにしてください。



⚠注意
・積荷の位置がプラットホーム先端になる程、荷重を小さくしてください。





(9) 荷物は、プラットホームの中央の荷台寄りにのせ、片荷にならないようにしてください。
荷物がプラットホーム前端よりはみ出さないようにしてください。

(10) パワーユニットのコントロールスイッチ又は操作ボタンは３０秒以上、連続して操作しつづけないでください。

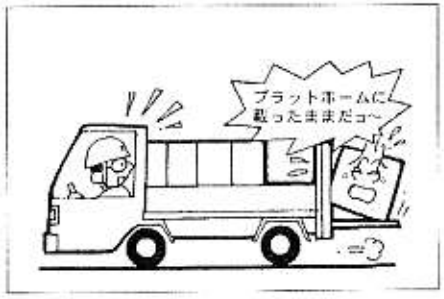
「必読！厳守事項」

(11) コントロールスイッチ又は操作ボタンの「ＵＰ」側を押してもプラットホームが上昇しないときは、コントロールスイッチの操作ボタン又は操作ボタンから手を離し、スイッチ、配線、作動油量等を点検してください。

(12) 安全装置が作動すると、プラットホームの上昇が止まります。この場合、プラットホームの「ＤＯＷＮ」操作を行い障害物を取り除いてから、再びプラットホームの「ＵＰ」操作してください。

(13) 作業終了後、メインスイッチは必ず「ＯＦＦ」にしてください。

(14) プラットホームに荷物を載せたままで車両を移動しないでください。



(15) プラットホームを下げた状態で車両を移動しないでください。

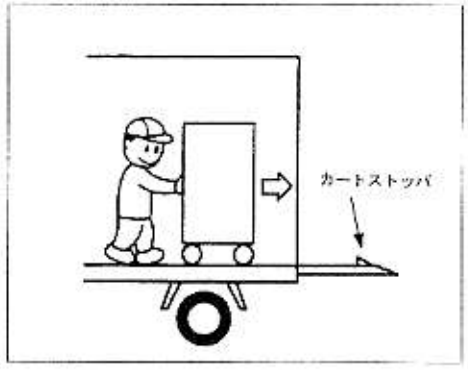
(16) 車両を移動するときは、プラットホームロックを必ずかけてください。

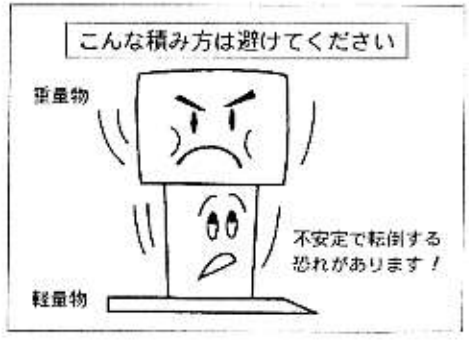
「必読！厳守事項」

⚠注意

コンテナの取り扱いについて

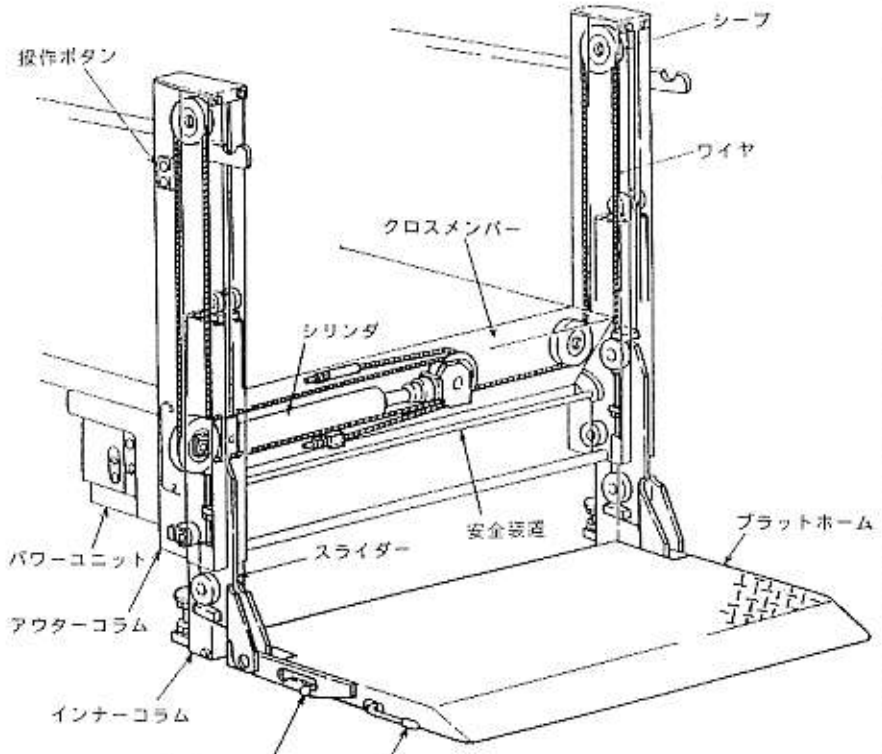
コンテナはゆっくりと押してください。
引っ張らないでください。
コンテナが転倒したときに下敷きとなり大変危険です。
また車輪が付いている台車等は、自走して落下しやすくなりますので、作業時はカートストッパを用いてください。

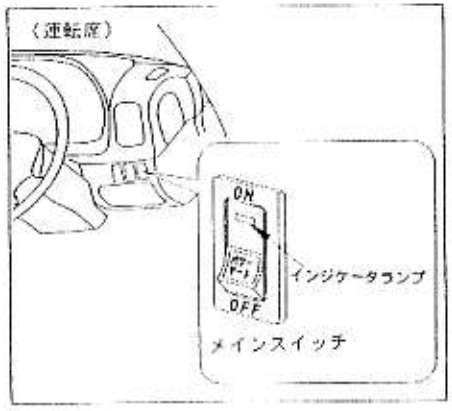




名　称

V600(架装型式 V60□A-□S□□□)
V800(架装型式 V80□A-□S□□□)





操作方法

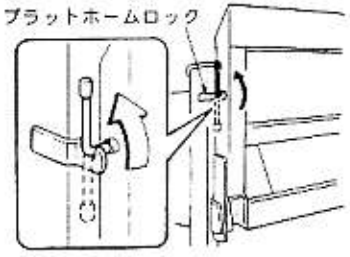
1．作業準備

⚠警告
- 不整地や傾斜地での作業は絶対しないでください。
  積荷が転落し大変危険です。
- 地面に段差がある場所での操作はインナコラムやスライダが抜けたり、プラットホームが後傾斜になる恐れがありますので、やめてください。

(1) 駐車ブレーキを掛け、車両に輪止めをしてください。

(2) エンジンを始動してください。
バッテリ保護のため、操作中はエンジンをかけてお使いください。

(3) プラットホームサイドにある左右2ヵ所のプラットホームロックをはずしてプラットホームを水平位置まで倒してください。
長い間、使用していない場合、プラットホームロックをはずすと、プラットホームが数センチ下がることがありますので、後述2．リフト操作でプラットホームを上げてからプラットホームロックをはずしてください。



2．リフト操作

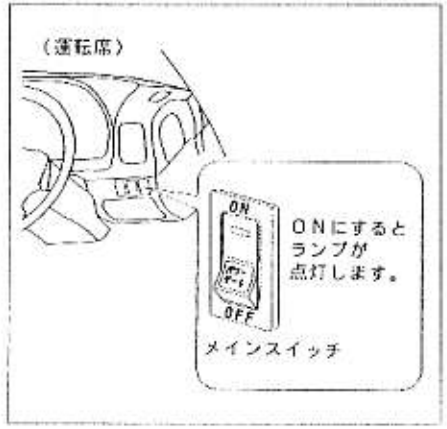
⚠警告
- 車輪が付いている台車等は、自走して落下し易くなりますので、作業時は車輪にストッパ等をして落下防止措置を行ってください。
- パワーゲートを操作するときは、作動部に手や足を近づけないようにしてください。車両のまわりに人がいる時は必ず合図をしてから、操作してください。又、車両後方での操作は荷くずれ等の危険を考慮して車両後部の左側又は右側で操作してください。
- プラットホーム上に乗って、昇降作業をしないでください。やむを得ず、プラットホーム上で作業する時は、積荷、プラットホーム、荷台との隙間で手足を挟まれないよう、又、落下の危険が無い安全な位置で行ってください。
- 安全のため、作業中はヘルメット・安全靴の着用を励行してください。

⚠注意
- 最大荷重を守ってください。
  積荷の位置がプラットホーム先端になる程、荷重を小さくしてください。
- 荷物は、プラットホームの中央の荷台寄りにのせ、片荷にならないよう注意してください。
  荷物がプラットホーム前端よりはみ出さないようにしてください。

操作方法

［マニュアル操作］

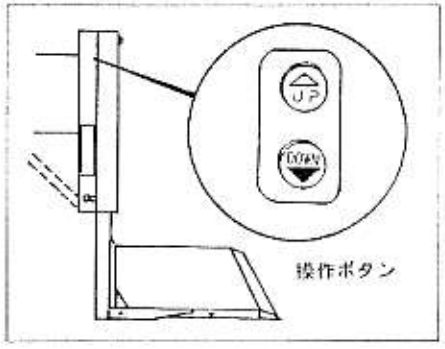
運転席のメインスイッチを「ON」にしてください。インジケータランプが点灯します。
メインスイッチ取付位置は車両毎に異なりますがハンドルの右側又は左側に設けています。



⚠注意
・メインスイッチが「OFF」の場合は操作スイッチを操作してもプラットホームは作動しません。

プラットホーム下げ

操作ボタンの「DOWN」側を押している間、プラットホームは自重で降下します。
フローコントロールバルブを装備していますので、荷物の重さにかかわらず降下速度はほぼ一定になります。



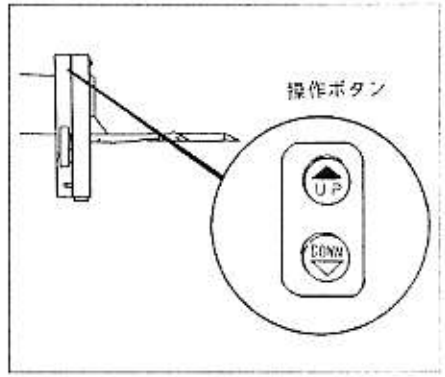
プラットホーム停止

操作ボタンから手を離すと、プラットホームは停止します。

操作方法

プラットホーム上げ

操作ボタンの「UP」側を押している間プラットホームは上昇します。
プラットホームが上昇し終わりましたら、すみやかに操作ボタンから手を離してください。

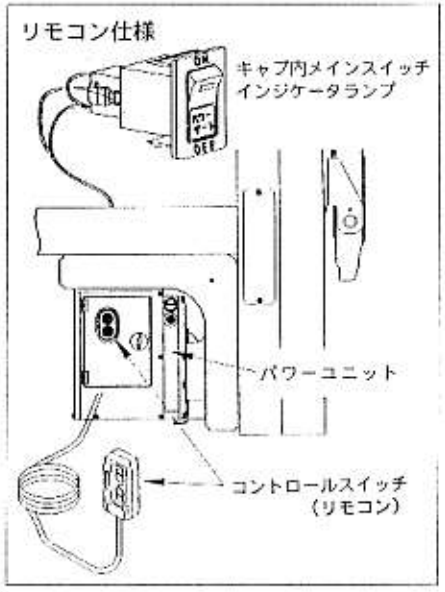


⚠注意
・プラットホームが上昇し終えても操作ボタンの「UP」側を押し続けますと、モータ焼損の原因となります。
・操作ボタンの「UP」側を押してもプラットホームが上昇しないときは、操作ボタンから手を離し、スイッチ、配線、作動油量等を点検してください。
・操作ボタンは３０秒以上、連続して操作しつづけないでください。
・作業後は、必ず運転席のメインスイッチを「OFF」にしてください。
インジケータランプは消灯します。

［リモコン操作］
（コントロールスイッチをパワーユニットに内蔵している場合）

運転席のメインスイッチを「ON」にしてください。インジケータランプが点灯します。
メインスイッチ取付位置は車両毎に異なりますがハンドルの右側又は左側に設けています。

⚠注意
・メインスイッチが「OFF」の場合は操作スイッチを操作してもプラットホームは作動しません。



プラットホーム下げ

コントロールスイッチの「DOWN」側を押している間、プラットホームは自重で降下します。

フローコントロールバルブを装備していますので、荷物の重さにかかわらず下降速度はほぼ一定になります。

プラットホーム停止

コントロールスイッチの操作ボタンから手を離すと、プラットホームは停止します。

プラットホーム上げ

コントロールスイッチの「UP」側を押している間プラットホームは上昇します。

プラットホームが上昇し終わりましたら、すみやかに操作ボタンから手を離してください。

⚠注意

- プラットホームが上昇し終えてもコントロールスイッチの「UP」側を押し続けますと、モータ焼損の原因になります。
- コントロールスイッチの「UP」側を押してもプラットホームが上昇しないときは、コントロールスイッチの操作ボタンから手を離し、スイッチ、配線、作動油量等を点検してください。
- コントロールスイッチは30秒以上、連続して操作しつづけないでください。
- 作業後は、必ず格納箱の蓋を閉め、運転席のメインスイッチを「OFF」にしてください。
  インジケータランプは消灯します。

3．プラットホーム自動開閉操作

オプション仕様

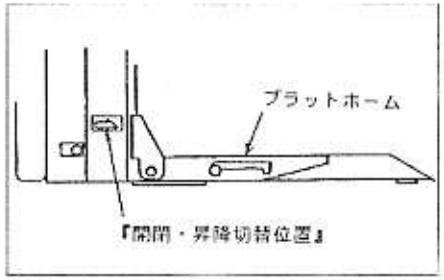
プラットホームを開く

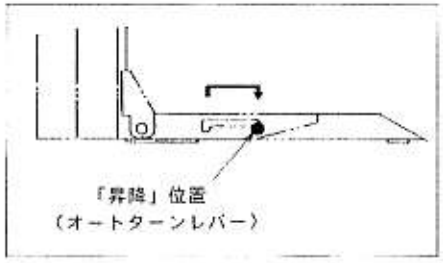
(1) プラットホームロックを「開」位置にしてください。

(2) コントロールスイッチ又は操作ボタンの「DOWN」側を押し続けてください。
プラットホームは下降しながら開きます。

(3) プラットホームの上面が『開閉・昇降切替位置』より下になる迄下降させ、停止してください。
コントロールスイッチの操作ボタン又は操作ボタンから手を離すと停止します。

(4) オートターンレバーを「昇降」位置にしてください。
これで、昇降作動ができます。

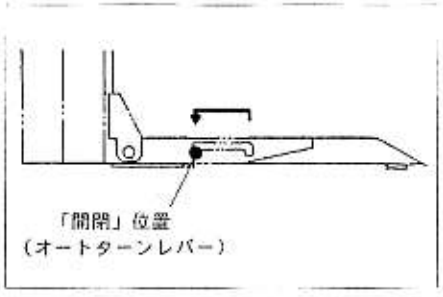




プラットホームを閉じる

(1) プラットホームの上面が『開閉・昇降切替位置』より下にある状態でオートターンレバーを「開閉」位置にしてください。

(2) コントロールスイッチ又は操作ボタンの「UP」側を押し続けてください。
プラットホームは上昇しながら閉じます。



操作方法

(3) プラットホームが閉じ終わったら、すみやかに停止してください。
コントロールスイッチの操作ボタン又は操作ボタンから手を離すと停止します。

(4) プラットホームロックを「ロック」位置にしてください。

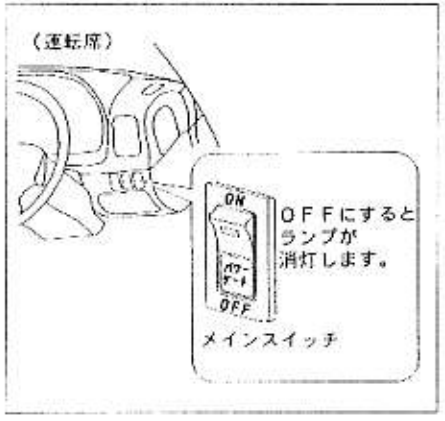
⚠注意
- プラットホームを昇降させる時は、必ずオートターンレバーが「昇降」位置になっていることを確認してください。
- プラットホームを閉じる時は、絶対にプラットホームに物を載せないでください。荷がすべり落ち怪我をする恐れや、装置が破損する恐れがあります。

4．走　行

⚠注意
- プラットホームに荷物を載せたままで車両を移動しないでください。
- プラットホームを下げた状態で車両を移動しないでください。
- 車両を移動するときは、プラットホームロックを必ず、かけてください。

(1) プラットホームを立てて、プラットホームロックをかけてください。

(2) 走行前に運転席のインジケータランプが消灯していることを確認してください。



5．走行後の手入れ

リフトメカやプラットホームなどに付着した雪や泥などは取り除いてください。雪や泥などが付着した状態で作動させると誤動作して部品やボデーを損傷する恐れがあります。また、凍結防止剤をまいた道路を走行したときは、塩分による錆などを防ぐために、なるべく早く洗車を実施してください。

点検・整備

1．適正な作動油の使用

(1) 作動油はＩＳＯ ＶＧ３２相当の作動油を使用してください。

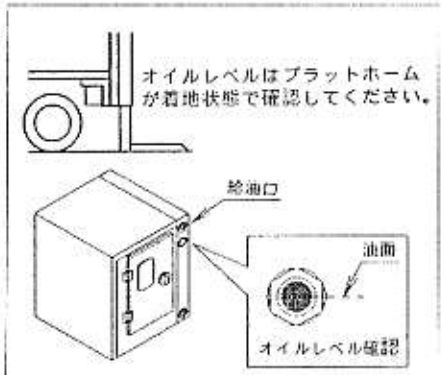
(2) 作動油の交換時期は、下表により行なってください。

１　回　目	２回目以降
稼働後３ヵ月	１年毎

⚠注意
- パワーゲートの使用頻度が多く作動油の汚れがひどい場合や、粘度が異常に変化した場合には、上表に依らず早期に交換してください。

(3) 作動油の給油量は下表の通りです。

架装型式	給油量（ℓ）
V60□A-□S□□□	2.1
V80□A-□S□□□	



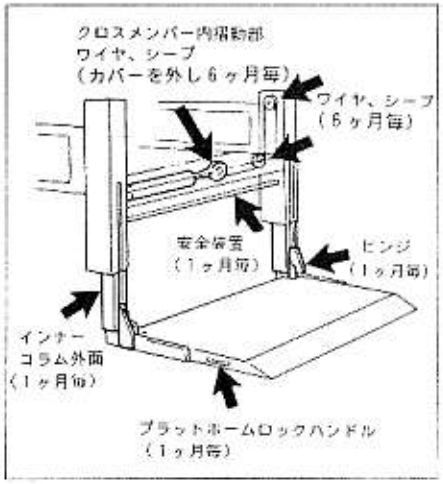
⚠注意
- 冬季気温が０°Ｃ以下に下がることの多い地域で使用するときは、ＩＳＯ ＶＧ２２又は、ＩＳＯ ＶＧ１５相当の作動油を使用してください。
- 作動油の交換は、ごみや砂などの異物が入らないよう、注意してください。

2．給脂箇所

給脂はグリースを図の箇所に塗布してください。

なお、洗車後等にはその都度給脂を行なってください。

ワイヤの給脂には、ダフニ・オープンギヤーオイル＃０又は＃１、又は上記相当品を使用してください。



3．洗　車

パワーユニットやスイッチボックスには直接水をかけないでください。

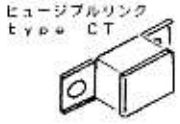
また、高圧洗車や蒸気洗車は、しないでください。

洗車でグリースが洗い流された場合には、給脂をしてください。

4．ヒューズ

ヒューズはパワーユニット内にブレード型１０Ａ、バッテリーコードラインにＣＴ型のものが取付けられています。

型　式	ＣＴ型ヒューズ
12V	140A
24V	100A



5．定期点検

点検箇所	点検項目	点検方法	日常点検	定期点検 1ヶ月毎	定期点検 6ヶ月毎	定期交換
ワイヤ	①素線切れ、毛羽立ち ②腐食、錆 ③形くずれ ④摩耗、直径の減少 ⑤端末金具の異常	プラットホームを下げて、コラム内部のワイヤを確認（目視）	○			2年毎
		クロスメンバカバーを外し、クロスメンバ内部のワイヤ確認			○	
シーブ、ブッシュ	割れ、変形、摩耗	目視			○	2年毎
安全装置	プラットホームを地面まで下げ、安全装置のバーを上げた状態で「上げ」操作してもプラットホームが上昇しないことを確認		○			
プラットホームロック	ロック時のレバーのガタ	・ロックレバーを操作 ・目視	○			
	レバーの変形、錆、スプリングの折		○			
	ロックナットのゆるみ		○			
トーションバー	錆、変形	・プラットホームを開閉 ・目視			○	
油圧部品	パワーユニット・シリンダ ゴムホースの油もれ・異音	・プラットホームを昇降 ・目視	○			
電気部品	スイッチの接触不良 「UP」「DOWN」「ON」「OFF」	・プラットホームを昇降 ・目視	○			
	コードのねじれ・変形	・目視	○			
	配線端子の汚れや締付不良、接触不良	・目視		○		

点検・整備

6．ワイヤ点検と交換

(1) ワイヤ点検

パワーゲート使用前には必ずプラットホームを下げた状態で、コラム内のワイヤに損傷がないか確認してください。

また、６ヶ月毎にカバーを取り外し、内部のワイヤにも損傷がないか確認してください。

(2) ワイヤ交換時期

ワイヤの交換基準は最長２年ですが下記状態に当てはまる場合は、使用を中止し、お近くのパワーゲート架装代理店にワイヤ交換をお申し付けください。

また、ワイヤ交換時は、シーブ・ブッシュもあわせて交換することをおすすめします。

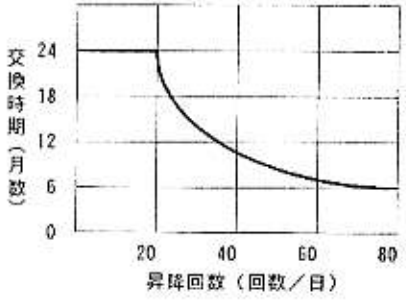
① ワイヤに損傷がある場合

３００mmあたりの素線切れが１０本以上あるとき

著しい形くずれまたは腐食があるとき

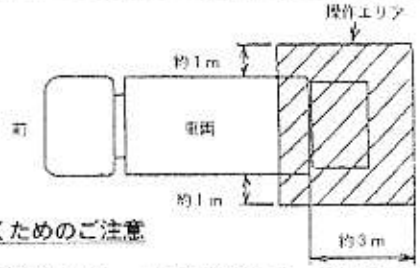
直径の減少が公称径の７％を超えているとき　公称径 …… φ6.5mm

② パワーゲート使用頻度が多い場合



※上記グラフに基づき昇降回数から交換時期を算出してください。

ワイヤレスリモコン操作要領(オプション)



1. 安全に使用して頂くためのご注意

(1) 操作前には必ず作動範囲内に、人や障害物が入っていないことを確認してから操作をしてください。

(2) 送信機を間違え他のオペレーター用の送信機で操作しますと、操作したいパワーゲートは動作せずに他のパワーゲートが動作することがあり大変危険です。送信機の取違えがないようにしてください。

(3) ワイヤレスリモコン使用中に誤動作がありましたら、直ちに使用を中止し、固定スイッチかコード付きリモコンスイッチを使用してください。

2. 操作方法

送信機の電源スイッチを１度押します。３秒以内に「上昇」、「下降」いずれかのスイッチを押すと、インジケータランプが点滅し、パワーゲートが表示通りの動作をします。上昇・下降スイッチを離すとパワーゲートの動作が停止します。スイッチを離して３秒以内であれば、再度「上昇」又は「下降」スイッチを押すことにより、パワーゲートを動作させることができます。

詳細はインストラクションプレート
(M.98-A0212)をご参照ください。

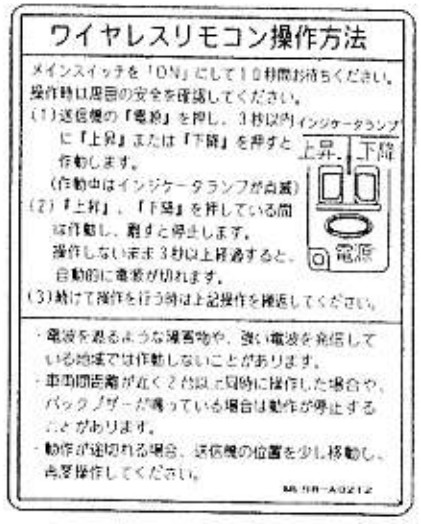
3. 使用上のご注意

(1) 受信機に電源を供給してから１０秒間は、出力動作は行いません。

(2) 微弱電波を使用していますので、他の無線機器の影響や、多重反射などにより、局部的に通信しにくいエリアが発生することがあります。

電波の状態が悪い場合に、送信機のスイッチを押していてもパワーゲートの動作が途中で停止する場合があります。

この場合「上昇」または「下降」スイッチを離し、３秒以内に「上昇」または「下降」スイッチを押し直してください。



ワイヤレスリモコン操作要領(オプション)

(3) 受信機を2台併設する場合（各々の送信機使用）は、2台の受信機を同時に動作させることはできません。同時に動作させる場合は受信機のアンテナを30m以上離して設置してください。
又、送信機を受信圏内で併用した場合、出力がとぎれる場合があります。

(4) 動作応答速度に関する注意事項
- 応答速度は、電波状態が悪い場合は信号の再確認を行うため遅れる場合があります。
- 送信機のスイッチは同時に2つ以上押さないでください。送信中に、他のスイッチを押すと送信が停止されます。
- 操作スイッチを押しながら受信圏内に入った場合は、作動しません。受信圏内で操作スイッチを押した時のみ、作動します。

(5) 送信機は防滴構造ですが、水中に落下すると故障します。

(6) 受信機を落下させると、内部のリレーが故障する可能性があります。
取り扱いには注意をお願いします。

(7) 直射日光のあたるところ、湿度の非常に高いところでは使用しないでください。

(8) 受信機・送信機ともケースは樹脂製のため、シンナー・ガソリン・灯油等の溶剤が付くと表面に溶け、割れが発生することがありますので注意してください。汚れ等に対しては、丸洗いせず、かたくしぼった布などで拭く程度にしてください。

(9) 送信機は電池を内蔵しています。廃棄する場合は電池を取り出し、電池は別にして廃棄してください。

(10) スイッチに無理な力を加えないでください。

(11) 操作スイッチは鋭利なもので操作しないでください。

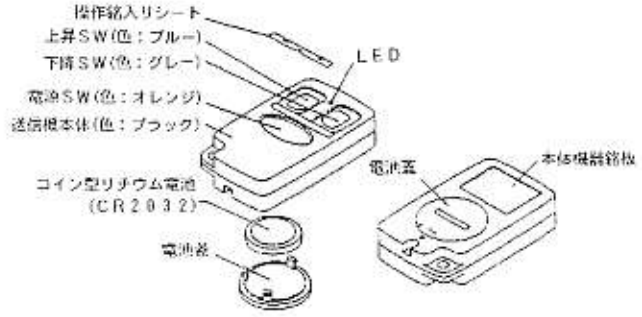
4. 送信機電池交換

送信機のスイッチを押しても送信ＬＥＤが点滅しない場合や、著しく暗くなった場合は電池交換が必要です。送信機裏側の電池蓋をコインで外し、電池交換します。

（注）電池交換の際は、ケース内に異物（特に金属片）が混入しないように注意してください。

（注）電池交換の際は、できるだけ中の部品に傷をつけないように気を付けて行ってください。

電池：コイン型リチウム電池（ＣＲ２０３２）



工場およびサービス網

極東開発工業株式会社

		〒	TEL	FAX
本社	西宮市甲子園口6-1-45	663-8545	0798-66-1000	0798-66-8146
東京本部	東京都大田区羽田旭町1-1	144-0042	03-5737-2271	03-5737-7791
横浜工場	大和市深見西4-1-62	242-0018	046-263-2211	046-262-7391
名古屋工場	小牧市大字東田中字松本1375	485-0826	0568-71-2211	0568-75-5607
パワーゲートセンター			0568-71-2296	0568-71-0710
三木工場	三木市別所町巴2 三木工場公園内	673-0443	0794-82-1121	0794-83-4628
福岡工場	飯塚市大字伊岐須428	820-0053	0948-23-0880	0948-23-0884
特機事業部	西宮市甲子園口6-1-45	663-8545	0798-66-1567	0798-65-7410
環境事業部	西宮市甲子園口6-1-45	663-8545	0798-66-1010	0798-66-3432

営業所，出張所

北海道営業所	札幌市中央区北三条東12丁目39番地6	060-0033	011-251-5701	011-251-5703
旭川出張所	旭川市東八条3-2-14 旭プラザビル3F	070-0028	0166-27-1335	0166-27-1336
帯広営業所	帯広市東十条南8-1-21 林業会館2F 13号室	080-0810	0155-21-4373	0155-21-4380
青森営業所	青森市栄町1-6-1 塩谷ビル2F	030-0903	017-743-4001	017-743-4009
盛岡営業所	盛岡市南大通2-4-14 高橋ビル2F	020-0874	019-625-5590	019-625-5359
東北営業所	仙台市宮城野区日の出町2-5-11	983-0035	022-236-6692	022-236-2729
秋田営業所	秋田市山王6-11-24 杉重ビル2F	010-0951	018-862-0260	018-883-1845
福島営業所	郡山市鶴見坦1-12-7 白川ビル2F	963-8861	024-934-0663	024-933-5342
茨城営業所	水戸市城南2-4-28 宮内ビル2F	310-0803	0292-27-5162	0292-27-5163
信越営業所	高崎市飯塚町97-1 高義ビル2F	370-0069	0273-62-6485	0273-62-0879
北関東営業所	大宮市東大成町2-299-1 オリオンビル2F	330-0037	048-668-7712	048-668-7715
千葉営業所	千葉市若葉区高品町1585-21 ハイネス高品202号	264-0024	043-234-3721	043-234-3771
多摩営業所	福生市福生2499-4 まのーねビル3F	197-0011	0425-52-9501	0425-52-9507
神奈川営業所	大和市深見西4-1-62	242-0018	046-263-7000	046-262-7391
新潟営業所	新潟市東山4-1-23 堅田ビル5F	950-0916	025-244-9161	025-244-8540
長野営業所	松本市本庄1-13-11 本庄ビル4F	390-0814	0263-35-0073	0263-35-1016
中部営業部	小牧市大字東田中字松本1375	485-0826	0568-71-2231	0568-75-5607
三重営業所	鈴鹿市西条4-102 伊藤ビル	513-0809	0593-84-3117	0593-84-3116
静岡営業所	静岡市駿原町3-15 多々良ビル1F	422-8071	054-288-4023	054-288-4030
富山営業所	富山市新根塚町1471-1 P.S ONEビル1F	939-8205	0764-21-1248	0764-21-1422
北陸営業所	金沢市広岡1-10-9 クオリティシャトウ101号	920-0031	0762-63-6691	0762-63-6490
福井営業所	福井市成和1-813 広田成和ビル	918-8239	0776-26-7738	0776-26-7769
京都営業所	京都市伏見区竹田鳥羽殿町9 メモワールビル5F	612-8450	075-603-2338	075-603-2363
近畿営業部	西宮市甲子園口6-1-45	663-8545	0798-66-1011	0798-65-7353
岡山営業所	岡山市青江1-7-33 ルネ青江402号	700-0941	086-232-7781	086-212-0588
中国営業所	広島市西区観音町15-18 吉村ビル	733-0031	082-232-8358	082-232-8359
山陰営業所	松江市朝日町489 三洋苑松江第一ビル3F	690-0003	0852-24-1186	0852-24-1180
四国営業所	高松市鶴市町035-7 鶴市ビル2F	761-8032	087-882-7640	087-882-6389
松山営業所	松山市竹原2丁目1-12 双和第一ビル202号室	790-0053	089-913-8860	089-913-8861
北九州出張所	北九州市小倉北区西港町61-6 上杉スプリング商会内	803-0801	093-592-1325	
西部営業部	福岡市博多区那珂1-17-9	816-0093	092-471-1001	092-431-1951
熊本出張所	熊本市尾ノ上1-44-16 大成ビル2F	862-0913	096-387-7255	096-387-7261
大分出張所	大分市牧1-11-17 アメニティハイツ104号	870-0924	0975-53-4882	0975-53-4828
鹿児島営業所	鹿児島市郡元1-9-9 モンテメールビル2F	890-0065	099-253-5768	099-253-5717
沖縄営業所	浦添市牧港1-62-19 大永建設ビル3F	901-2131	098-879-6611	098-879-6613
関東事業部 東部営業部	東京都港区海岸2-4-1 世界貿易センタービル12F	105-6112	03-3435-5366	03-3435-5355

特装サービス本部

		〒	TEL	FAX
サービス管理部	西宮市甲子園口6-1-45	663-8545	0798-64-2512	0798-64-2568
部品センター	三木市別所町巴14 三木工場公園内	673-0443	0794-82-1353	0794-82-4240
北海道サービス事業所	札幌市中央区北三条東12丁目99番地6	060-0033	011-251-5337	011-251-5703
東北サービス事業所	仙台市宮城野区日の出町2-5-11	983-0035	022-236-6695	022-236-0095
東部サービス事業所	厚木市金田1095	243-0807	046-225-8501	046-225-8510
東京サービスセンター	東京都江東区枝川2-28-16	135-0051	03-3647-7801	03-3647-7814
中部サービス事業所	小牧市大字東田中字松本1375	485-0826	0568-71-2245	0568-77-6172
近畿サービス事業所	西宮市甲子園口6-1-45	663-8545	0798-64-3213	0798-64-2568
西部サービス事業所	飯塚市大字伊岐須428	820-0053	0948-22-3811	0948-23-4503
《株式会社 ユフ・イ・テック》				
名古屋サービスセンター	名古屋市緑区大高町中川7-1	459-8001	052-622-3111	052-622-3115
関西サービスセンター	三木市別所町巴14 三木工場公園内	673-0443	0794-82-4094	0794-82-4240

サービス員駐在所

帯広駐在	帯広市東十条南8-1-21 林業会館2F 13号室	080-0810	0155-21-4385	0155-21-4380
青森駐在	青森市栄町1-6-1 旭谷ビル2F	030-0903	017-741-1076	017-743-4090
岩手駐在	盛岡市南大通2-4-14 高橋ビル2F	020-0874	019-625-5680	019-625-5359
秋田駐在	秋田市山王6丁目11-24 杉重ビル2F	010-0951	018-862-0260	018-883-1845
福島駐在	郡山市緑見町1-12-7 白川ビル2F	963-8861	024-939-8868	024-933-5342
高崎駐在	高崎市飯塚町97-1 高義ビル2F	370-0069	0273-62-6485	0273-62-0879
埼玉駐在	大宮市東大成町2-299-1 オリオンビル2F	330-0037	048-668-7712	048-668-7715
新潟駐在	新潟市東山4-1-23 堅田ビル5F	950-0916	025-244-9161	025-244-8540
長野駐在	松本市本庄1-13-11 本庄ビル4F	390-0814	0263-35-0073	0263-35-1016
三重駐在	鈴鹿市西条4-102 伊藤ビル	513-0809	0593-84-3117	0593-84-3116
静岡駐在	静岡市豊原町3-15 多々良ビル1F	422-8071	054-288-4023	054-286-4030
富山駐在	富山市新根塚町471-1 P.S ONEビル1F	939-8205	0764-21-1248	0764-21-1422
石川駐在	金沢市広岡1-10-9 クオリティシャトウ101号	920-0031	0762-63-6691	0762-63-6490
福井駐在	福井市成和1-813 広田成和ビル	918-8239	0776-26-7738	0776-26-7769
京都駐在	京都市伏見区竹田鳥羽殿町9 メモワールビル5F	612-8450	075-603-2338	075-603-2363
岡山駐在	岡山市青江1-7-33 ルネ青江402号	700-0941	086-232-7781	086-212-0588
広島駐在	広島市西区観音町15-18 吉村ビル	733-0031	082-232-8358	082-232-8359
松江駐在	松江市朝日町489 三洋苑松江第一ビル3F	690-0003	0852-24-1186	0852-24-1180
香川駐在	高松市鶴市町1035-7 鶴市ビル2F	761-8032	087-882-7640	087-882-6389
松山駐在	松山市竹原2丁目1-12 友和第一ビル202号室	790-0053	089-913-8860	089-913-8861
鹿児島駐在	鹿児島市郡元1-9-9 モンデメールビル2F	890-0065	099-253-5768	099-253-5717
沖縄駐在	浦添市牧港1-62-19 大永建設ビル3F	901-2131	098-879-6611	098-879-6613

関連会社

		〒	TEL	FAX
関連会社	札幌市北区篠路町福移153-1（ごみ資源化工場内）	002-8055	011-791-7030	011-791-0617
極東特販流通会社	東京都大田区羽田旭町1-1	144-0042	03-5737-2277	03-5737-7795
関連会社	八戸市大字市川町字山ノ沢13-201	039-2241	0178-51-2509	0178-51-2503
関連会社	東京都港区浜松町2-9-1 高橋第3ビル4F	105-0013	03-5405-2187	03-5405-2186
極東サービスエンジニアリング中部㈱	小牧市大字東田中字松本1375	485-0826	0568-71-6700	0568-73-2224
極東サービスエンジニアリング北海道㈱	札幌市中央区北三条東12丁目99番地6	060-0033	011-251-5380	011-251-5704

NEW パワーゲート V すいちょく 600 800

V60*A-*S***

V80*A-*S***

取扱説明書

発行　極東開発工業株式会社

平成13年11月　発行

平成18年7月　改訂

不許複製

取扱説明書 No.　Q-ML-N00067